

豊かな実りは自然の土壌から

『自然環境農法栽培』



アーブ・トーマス・オルガ菌と共に土づくりから
育苗土は、健全苗を作る基本です。
この基本を大切に当社は自然環境農法を推進致しております

育苗培土の基本的な使い方

主な用途と使い方（播種床・育苗・仮植・プランタや鉢床土などに）

| 使 い 方 | | |
|------------------|---|---|
| 一般購入 培土の時 | * 購入培土 1 m ³ に対し「トーマスくん」300 cc、を散布、 又は「スーパー源肥」を 15% 程度混入し攪拌して 15~ 30 日間熟成する。（この間 2~3 回切り返しをするとよい） | <特徴と効果> 1. 発芽率が高まります。 2. 根張りがよく健全生育 3. 徒長を抑制しバランスよく生育してくれます。 4. 各障害に強く病虫害の抵抗力も増します。 5. 各作物の品種特性を最大限に引き出します。 |
| | * 中途からは、「トーマスくん」500 倍液を 2~3 回葉面から散布する。 | |
| 自家製 培土を作る時 | * 1 m ³ (1000ℓ) の培土を作る目安で、身近な土を 80~85%、熟成腐植した堆肥（一般堆肥や腐葉土）を 15~20%（この堆肥分として「スーパー源肥」を 5~15%、ミネラルこんぶ 1~3% 入れると更に良い）「トーマスくん」を 300~500 cc を希釈し散布（200~1000 倍）、その後土壌水分目安 50~60% 位になるように、攪拌しながら足し水し調整。その後、ビニール被服などで乾燥を防止し、30~60 日間熟成する。 この間には、2~3 回切り返しをするとよい （肥料分は用途により多少混ぜて下さい） ◎ 1 m ³ (1000ℓ) 培土配合の一例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備し易い身近な土……………80% 800ℓ (約 720kg) ・ 熟成腐植した堆肥等……………14% 140ℓ (約 60kg) 4 袋 ・ 高濃度特殊有機肥料（スーパー源肥）・ 4% 35ℓ (約 15kg) 1 袋 ・ ミネラル分（ミネラルこんぶ）…2% 25ℓ (約 8kg) 1 袋 ・ トーマスくん 1.0 m³ に対し 300~500ml (原液量) 【換算目安】 堆肥及びスーパー源肥は 1 袋=35ℓ =15kg ミネラルこんぶは 1 袋=25ℓ =15kg | <注意事項> 直後の作付けは避けて下さい（未分解物による分解ガス障害の恐れあり） <育苗期間中の管理> 現行の通りで良いですが、期間中 1~2 回程度はトーマスくん 500~1000 倍液を葉面から散布すると対病性が増しますしバランスの採れた健全苗になります。 |
| ※ 比率は容積比によるものとする | | |

【特徴及び効果】

- * 土壌消毒等の経費や手間が省ける。
- * 作業工程の軽減と育苗ロスが少なく秀品率が増し、コスト的にも経済的です。
- * 有機・減農薬栽培で良質な製品により商品価値が高まる事による継続栽培が可能になります。

【残渣等の再利用】

- * 残渣土等を再利用は、1 m³ に対しトーマスくん 500ml と宝水を 500ml 混合し散布（水量は乾燥状態により考査）2~3 ヶ月の期間を置く、この間 2~3 回切り替えしを行なう。
 その後、上の身近な土と同様に使用しますが、この時のトーマスくんの量は半分程度で良い。